

平成 21 年度事業報告書

ご挨拶

理事長 廣江 研

平素より、社会福祉法人こうほうえんの事業についてご理解ご協力を頂きまして、誠に有難うございます。

今年度は、平成 19 年にスタートした中期計画の最終年度となりました。この 3 年間を振り返ると高品質なサービス提供として介護においては、ユニットケアの一層の推進のためにユニットリーダーの育成ならびにユニット会議の充実を図ってきました。錦海リハビリテーション病院においては、リハビリスタッフの充実はもとより、看護体制のみならず介護スタッフも増員を図り、充実した人員体制の中、全国トップレベル治療成績を残すことができました。保育においても、かみごとう 2 園、うきま 2 園、にしおおいとの計 5 園の体制となり、保育事業部体制確立のための相互交流をスタートしています。また、地域との交流を一層深めるという目標のもと、11 月 11 日の介護の日には米子市のショッピングセンターにおいて共同イベントを開催し約三千名の方にお越しいただきました。

本年 2 月には、サービス産業生産性協議会より、社会福祉法人として初めて「ハイ・サービス日本 300 選」に選定されました。この「ハイ・サービス日本 300 選」は、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み(ベストプラクティス)を行っている企業・団体を表彰・公表することで企業・団体の一層の取り組みを喚起し、優良事例を広く普及・共有することで、サービス産業全体のイノベーションや生産性向上を促進することを目的としています。法人設立以来、「サービス業のプロとして」精進を重ねてきた私どもにとって、なによりもありがたい受賞であり、今後もこの受賞に恥じないサービスを提供して参りたいと存じます。

本年度より、新たな中期計画をスタートさせます。2025 年にピークを迎える高齢化に対応して「住み慣れた地域」で最後まで暮らせるような仕組み「地域包括ケア」の確立が必須といえます。地域包括支援センターや小規模多機能施設を中心に地域で安心して暮らせる仕組みづくりを関係機関と協力しながら推進して参ります。また、それぞれの事業所が、自らの強みを生かし独自のカラーを出せるような風土づくりを行っていきます。そして、本部機能を強化するとともに、まだまだ施設整備が必要な東京地区においても事業展開を図っていきます。また、サービスを支える職員のためにワークライフバランスを考えた職場環境づくりも喫緊の課題です。

政権交代が起こり社会福祉法人の置かれた状況も不安定な中、より一層の経営努力が必要な時代となりました。本年も引き続き、さらなるご支援、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

1. 平成 21 年度トピックス

(1) 第 2 次中期目標（平成 22 年度～平成 24 年度）の作成

平成 19～21 年度の第 1 次中期目標からの継続性を維持しつつ、「2025 年地域包括ケアシステム」を見据えた体制作り及び法人組織の強化を図るとともに、2012 年（平成 24 年度）同時改定に向けた「点から面」への展開を図ります。

鳥取： 地域密着した事業展開とサービスの質の向上による地域での優位性の確立

東京： 新規事業展開によるシェアの拡大とエリア体制の構築

報酬改定と課税圧力に耐え、かつ昇給財源の確保を堅持できる組織体制作り

(2) 『ハイ・サービス日本 300 選』に選ばれる

平成 22 年 2 月に第 9 回授賞企業として選定されました。

日本経営品質賞を運営する「日本生産本部」の下部組織「サービス産業生産性協議会」が運営する表彰制度で、創意工夫に満ちた優れたサービスを提供する企業・組織が 3 年間で 300 社選定されます。社会福祉法人としては全国初受賞となります。

(3) 介護職員処遇改善金への対応

介護職員処遇改善交付金は、介護職員の処遇改善に取り組む事業者に対して平成 23 年度末までの間、介護職員（常勤換算）1 人当たり月額平均 1.5 万円（賞与・法定福利費を含む）を国が交付する制度です。こうほうえんでは、

- ・正職員に対して月額平均 4,680 円の定期昇給
- ・全職員に対し月額 10,000 円の一時金支給（勤務時間に応じ 5,000 円または 10,000 円）
- ・品質管理等の諸手当の新設

を行った結果、平成 21 年度実績として職員 1 人当たり（常勤換算）平均 21,600 円（一ヶ月あたり、賞与・法定福利費を含む）の処遇改善がなされました。

本制度の対象者は介護職員のみですが、当法人では職種による不公平感をなくすため全職員を対象に一時金を支給いたしました。

(4) 新規事業の動向

○ 鳥取県

介護基盤緊急整備等臨時特例交付金事業としての小規模多機能型居宅介護事業所の整備事業を選定。10 室の高齢者専用賃貸住宅を併設し、地域の介護拠点とすることを提案しています。

- ・境港市： デイハウスわたり（特別交付金事業） 平成 22 年度開設予定
- ・米子市： デイハウスながえ（特別交付金事業） 平成 23 年度開設予定

○ 東京

- ・東十条南口子育て支援施設（JR 東日本子育て支援事業）

JR 東日本の公募により平成 21 年 9 月に選定 平成 23 年 4 月開園予定

対象事業： 保育園、児童デイサービス

- ・江東区複合施設公募

指定管理者として平成 22 年 2 月に選定

対象事業： 保育園、小規模多機能型居宅介護事業所、グループホーム

(5) メンタルヘルスケアへの着手

職員の心の健康の維持及び増進を目的として、「こうほうえん心の健康作り委員会」の体制ができました。主な取り組みとして、メンタル研修、心の相談室の設置、職場環境等の把握と改善を行います。

(6) フィリッピン人介護士の受け入れ

昨年度のインドネシア人介護士の受け入れに続き、日本・フィリッピン経済連携協定（EPA）に基づく受け入れを行いました。平成 21 年 11 月、なんぶ幸朋苑に女性 2 名が着任しました。

2. 教育研修

- ・法人外部研修 延べ人数 902 人
- ・法人内部研修 延べ人数 6,566 人
- ・法人外部 学会研究会発表 計 51 題
(第 20 回全国老健大会、第 28 回全国社会福祉施設経営者大会、第 9 回日本認知症ケア学会、リハビリテーション・ケア合同研究大会他)
- ・海外研修 デンマーク 5 名 カナダ 2 名
- ・第 14 回法人研究発表会(平成 21 年 3 月 27 日開催) 演題 145 題
- ・鳥取大学医学部 ヒューマンコミュニケーション授業 実習受け入れ 一学年 78 人

3. 外部評価・第三者評価

- ・グループホーム外部評価 ひので、あがりみち、かみごとう、よねはら、なるみ
- ・介護サービス情報公表 さかい、よなご、なんぶ、いなば 各対象事業
- ・第三者評価 よなご特養、きんかい特養、うきまキッズ、にしおいキッズ

4. 地域貢献

- | | | |
|-----------------------------------|------|---------|
| 実習受け入れ実績 | 延べ人数 | 6,332 名 |
| ボランティア受け入れ実績 | 延べ人数 | 5,882 名 |
| 法人職員ボランティア・環境活動実績 | | |
| ・ 地域の夏・秋祭りの参加 | | |
| ・ 市内・地区の一斉清掃活動への参加、独自清掃活動の実施 | | |
| ・ 地区消防団への参加 | | |
| ・ 防災訓練での介護指導 | | |
| ・ 小学校安全見守り隊 | | |
| ・ 地区小学校への支援：グラウンドの除草、エコキャップ回収活動、等 | | |
| 認知症サポーター養成 | 参加人数 | 1,829 名 |
| 介護の面白さを伝える授業 | | |
| ・ 鳥取県立境港総合技術高等学校 | 参加人数 | 120 名 |

介護の日イベント

- ・よなご、なんぶ主催 商業施設で救急講習等を実施 参加人数 約 3,000 人
- ・さかい主催 講演、体験、測定、福祉機器の展示 参加人数 120 人
- ・いなば主催 高齢者擬似体験等
- ・うきま主催 講習会、講演、小学生の介護体験等
- ・にしおおい主催 よろず相談会

看護の日イベント

- ・錦海リハビリテーション病院 生活指導、医療・介護相談等
- 小学校絵本教室 参加者 293 人

5. 利用者減免

平成 21 年度 利用者負担減免実績

ア)介護保険にかかる低所得者への減免					
	減免額 (1割負担分)	減免額 (食費・住居費他)	計上減免額 (小計)	補助金額	実質減免額 合計
施設サービス	7,055,871 円	14,052,833 円	21,108,704 円	9,641,211 円	11,467,493 円
居宅サービス	822,107 円	2,360,107 円	3,182,214 円	189,000 円	2,993,214 円
小計	7,877,978 円	16,412,940 円	24,290,918 円	9,830,211 円	14,460,707 円
イ)高齢者向け優良賃貸住宅の低所得者への減免					
高優賃住宅	0 円	46,358,360 円	46,358,360 円	43,365,800 円	2,992,560 円
ウ)無料低額診療による低所得者への減免(介護老人保健施設、リハビリテーション病院)					
無料低額診療	8,734,600 円	9,674,372 円	18,408,972 円	0 円	18,408,972 円
エ)特定施設人員基準に関する上乗せ介護費の減免					
	0 円	93,600,000 円	93,600,000 円	0 円	93,600,000 円
合計(ア+イ+ウ+エ)	16,612,578 円	166,045,672 円	182,658,250 円	53,196,011 円	129,462,239 円

上記利用者負担減免実績の説明

ア) 介護保険にかかる低所得者への減免

社会福祉法人等が、社会的役割に鑑み、生計が困難な市民税非課税世帯の要介護者に対する利用者負担を軽減する制度です。

ここで対象になり費用は、介護(予防)給付費 食費 居住費 宿泊費です。

イ) 高齢者向け優良賃貸住宅の低所得者への減免

高齢者の居住の安定確保に関する法律等及び都道府県の実施要綱に基づき供給する高齢者向け優良賃貸住宅に関して都道府県の補助金等交付規則により対応するもの。高優賃住宅の供給計画につき都道府県知事の認定を受けた者に限り予算の範囲内で補助金を受ける。又規則以上の減免をする場合もあります。

ウ) 無料低額診療による低所得者への減免

社会福祉法第 2 条第 3 項に規定する「生活困難者に対して無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設等を利用させる事業において 5 項目の基準を満たし

ている事業所が行うものです。

エ) 特定施設人員基準に関する上乘せ介護費の減免

特定施設においては、職員配置基準が利用者3に対して職員1となっており、基準より職員配置が厚い事業所については、ご利用者からその部分の負担してもらっても良いことになっている。

当法人の職員配置は利用者2に対して職員1以上であるが、ご利用者からの負担は頂いていない。

6. 人財状況

平成21年度採用実績	鳥取採用者	東京採用者	合計
新規採用者	38人	43人	81人
中途採用者	120人	54人	174人

職員数	1,650人 (平成22年3月31日現在)
-----	-----------------------